

近江八幡市指定管理施設サウンディング型市場調査

【近江八幡市安土城郭資料館】実施結果

- 1 参加事業者数【3 者】
- 2 実施日【令和 8 年 5 月 25 日（月）・27 日（水）・29 日（金）】
- 3 結果の概要

参加事業者様からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

施設の課題について
●2 階展示室への階段などにおいて、ユニバーサルデザインへの配慮が十分とはいえず、バリアフリー化に向けた改善の余地がある。
レイアウト・展示内容について
●着物着用スペースとトリックアート撮影場所が離れているため、配置について改善の余地がある。 ●2 階の展示内容が織田信長に関するものに偏っているため、近隣の安土城天主信長の館との差別化を図る余地がある。
施設を活用したイベントについて
●市側の説明によれば、イベント利用時には、入館料を徴収していない場合があり、今後、イベント機能の拡充を図る余地がある。
公募について
●公募条件については、参画の支障となる事項は見受けられず、指定管理者に委ねられる裁量の範囲は比較的広いと考えられる。
開館時間・閉館時間について
●施設の利用者状況を調査したうえで、利用実績のない時間帯については閉館を検討するとともに、利用者の多い時間帯については開館時間を前倒しするなど、運営時間の見直しが考えられる。 ●KPI（重要業績評価指標）として入館者数を設定し、その実績に基づいて

営業時間を柔軟に調整することも一つの方法である。
指定管理料について
● 来場者数の目標達成状況に応じて増額・減額を行う成果連動方式について、制度設計の検討対象とする余地がある。 ● 案内業務量は来場者数に概ね比例するため、指定管理料の費用設計との連動を検討する必要がある。
施設の予防保全について
● 施設を長期的に活用する方針の下で予防保全に投資することで、民間事業者は魅力向上に向けた提案を行いやすくなる。
自主事業について
● 若い世代を対象とした事業や、若い職員のパワーを活かすような自主事業の展開が必要である。
募集要項について
● 募集要項（案）に参考として、学生とのコラボレーション事業など、実施予定の事業内容を具体的に示すことが考えられる。
パンフレットについて
● 現状、「信長の館」「考古博物館」と併せて3施設で共同パンフレットを制作しているとのことだが、城郭資料館独自のパンフレット制作も検討の余地がある。
新規参入について
● 長年にわたり同一事業者が受託している状況は、民間企業の新規参入に対する障壁となっている。
公募スケジュールについて
● 募集開始から申請書の提出期限までの期間が短く、よい提案を練る時間が不足しており、参入障壁となっている。